

2021年度在庫回転日数調査結果

関東支部流通業務委員会

2021年度の在庫回転日数調査結果をご報告致します。
関東支部流通業務委員会企業9社、76拠点を対象とし、倉出金額・平均在庫金額等、関連項目についてアンケートを実施致しました。

1 総評

対象拠点数は、前年より1拠点増加の76拠点となっている。
年間倉出金額は、食品98.7%、酒類100.2%。食品は減少、酒類は前年並み。
年間平均在庫金額は、食品102.8%、酒類100.7%。食品は増加、酒類は前年並み。
年間平均在庫日数は、食品103.7%、酒類100.8%。食品は増加、酒類は前年並み。
食品は売上減少が見られるが、在庫については増加している。
酒類は売上、在庫ともに前年並みの結果となっている。

2 調査結果集計

★年間平均在庫日数について

| | 本年 | 前年 | 増減 | 前年比 |
|----|-------|-------|------|--------|
| 食品 | 4,028 | 4,080 | ▲ 52 | 98.7% |
| 酒類 | 1,266 | 1,264 | 2 | 100.2% |
| 合計 | 5,294 | 5,344 | ▲ 50 | 99.1% |

| | 本年 | 前年 | 増減 | 前年比 |
|----|-------|-------|-----|--------|
| 食品 | 123.0 | 119.6 | 3.4 | 102.8% |
| 酒類 | 45.5 | 45.2 | 0.3 | 100.7% |
| 合計 | 168.5 | 164.8 | 3.7 | 102.2% |

| | 本年 | 前年 | 増減 | 前年比 |
|----|------|------|-----|--------|
| 食品 | 11.1 | 10.7 | 0.4 | 103.7% |
| 酒類 | 13.1 | 13.0 | 0.1 | 100.8% |
| 合計 | 11.6 | 11.3 | 0.3 | 102.7% |

・食品、酒類合計では倉出金額99.1%、在庫金額102.2%、在庫日数は0.3日増という結果になっている。

★坪当り倉出金額・平均在庫金額

| | 本年 | 前年 | 増減 | 前年比 |
|----|-------|-------|-------|--------|
| 食品 | 4,379 | 4,599 | ▲ 220 | 95.2% |
| 酒類 | 4,369 | 4,359 | 10 | 100.2% |
| 合計 | 4,376 | 4,540 | ▲ 164 | 96.4% |

| | 本年 | 前年 | 増減 | 前年比 |
|----|---------|---------|-------|--------|
| 食品 | 91,985 | 88,717 | 3,268 | 103.7% |
| 酒類 | 28,986 | 29,019 | ▲ 33 | 99.9% |
| 合計 | 120,972 | 117,736 | 3,236 | 102.7% |

| | 本年 | 前年 | 増減 | 前年比 |
|----|-----|-----|-----|--------|
| 食品 | 134 | 135 | ▲ 1 | 99.3% |
| 酒類 | 157 | 156 | 1 | 100.6% |
| 合計 | 139 | 140 | ▲ 1 | 99.3% |

対象拠点総坪数は、食品103.7%、酒類99.9%、合計102.7%。食品にて1拠点増加。
坪当り倉出金額は、食品95.2%、酒類100.2%、合計96.4%。食品にて1拠点増加にも関わらず売上が減少した影響が見られる。
坪当り平均在庫金額は、食品99.3%、酒類100.6%、合計99.3%。食品、酒類ともにほぼ前年並み。

3 まとめ

新型コロナウイルスの影響によりライフスタイルが大きく変化し、特に2020年度は巣ごもり需要の影響で食品売上が増加する一方で、酒類売上は大きく落ち込む結果となっていた。
2021年度の食品売上は多少減少したが、酒類は前年並みに留まり引続き厳しい環境にある結果となった。
食品の平均在庫金額、平均在庫日数は増加傾向にある。引続き製配販が一体となり、サプライチェーン全体の効率化に向けた仕組みの構築が必要と考える。